

連立方程式の解き方 (3)

だいにゆうほう
代入法

次の連立方程式では、② を① に代入すると、y を消去できる。

$$\begin{cases} 4x - 3y = -8 & \cdots \text{①} \\ y = 2x + 2 & \cdots \text{②} \end{cases}$$

$$4x - 3(2x + 2) = -8$$

②を①に代入

このように、代入によって一方の文字を消去して解く方法を、**代入法**という。

※連立方程式の解き方には加減法や代入法があるが、問題に指示がないときは、式の形に合わせて解きやすい方法を使うと良い。

【1】 次の連立方程式を代入法で解きなさい。

$$(1) \begin{cases} 4x - 3y = -5 \\ y = 3x \end{cases}$$

$$(2) \begin{cases} 2x + y = 12 \\ x = -2y \end{cases}$$

答え _____

答え _____

$$(3) \begin{cases} 3x - 2y = 7 \\ x = y + 4 \end{cases}$$

$$(4) \begin{cases} 2x + 3y = 13 \\ y = 2x - 1 \end{cases}$$

答え _____

答え _____